

一般社団法人日本健康心理学会・研究推進委員会・研究部会制度について

一般社団法人日本健康心理学会（以下「本学会」とする）の重要なミッションのひとつとして、国民に対して健康心理学分野の質の高いエビデンス（頑健な基礎研究の成果、介入研究の効果検証の結果）を供給できる研究者の組織であることが求められる。そのためには、日本の健康心理学者が国際的に評価の高い学術雑誌に掲載されるような研究を行うことが必要である。本学会では研究推進委員会が中心となり、2012年度に研究部会制度を発足させた。この制度は、本学会員ならびにその関係者が、連携して共同研究を実施し、アカデミックアプトプットを作成することを推進しようとするものである。2016度よりこの制度を拡張し、多様な研究部会の活動を行えるようにしながら、かつ研究部会に属する研究組織が利用できる競争的資金獲得の支援制度を実施している。

1. 研究部会制度

(1) 概要

研究部会では、研究発表をベースにアカデミックなディスカッションを行い、当該領域の研究を発展させ、それとあわせて、研究者ネットワークを構築し、共同研究を生み出していくことを目的とした活動を行うものとする。具体的には、これらの目的に則した学会での部会の開催やシンポジウムの企画、共同研究の実施、共同研究の成果の論文発表などが当てはまる。

(2) 対象者

申請者は本学会の正会員とする。

(3) 申請方法

募集は年1回行う。申請者は研究推進委員会が指定した申請期間内に、「申請書」および「研究部会参加者名簿」を研究推進委員会まで提出する。申請書には、共同研究、学会での部会の開催、シンポジウム、論文発表の予定を記載する。なお、類似した研究部会が複数ある場合は、研究推進委員会が審査の上、調整することもある。

(4) 研究部会の名称

申請した研究部会が承認された場合には、「一般社団法人日本健康心理学会**研究部会」として活動を行う。

(5) 研究部会の義務

- ・研究部会の活動は学会のホームページ上で公開し、学会会員であれば誰でも参加できる形とする。
- ・年に1回以上、学会での公開の研究部会やシンポジウムを開催する。研究部会を開催する

際は、研究部会の開催に関する情報を健康心理学会のホームページで事前に公開する。

- ・健康心理学会の大会で部会活動の成果を報告するシンポジウムを開催する場合には、シンポジウムに参加する。また、健康心理学研究で特集を企画する際には、成果の寄稿を求めることがある。

(6) 研究部会の活動

期間は3年となるが、それ以降も活動実態に合わせて研究部会としての登録は可能である。研究部会の名称も引き続き利用することができる。

(7) 審査方法

審査は研究支援委員会が申請書の内容を採点し、基準を超えた研究部会について常任理事会の承認を得て採択を決定する。

2. 研究部会競争的資金獲得支援制度

(1) 概要

本学会研究部会に属する正会員が、健康心理学に関係する領域の学術研究を代表研究者として計画し、研究部会に属する正会員を共同研究者（研究分担者）もしくは研究協力者として競争的研究資金の獲得を目指して組織した研究に対して準備資金を20万円以下の範囲で支給する。

(2) 対象者

対象は、本学会の正会員かつ研究部会に属する者とし、新規申請課題の代表研究者とする。

(3) 申請方法

申請は、申請期間中、随時受け付ける。申請者は、申請を予定している競争的研究資金の申請書の様式に従って（当該年度の様式が未定の場合は、前年度の様式）作成した研究計画書（案）を添付し、申請書に必要事項を記載し、研究推進委員会に提出する。

(4) 研究分担者、研究協力者の募集支援

研究代表者が、研究計画書案を作成した時点で、研究分担者または研究協力者を新たに本学会の正会員の中から募りたい場合、学会のHPに研究の概要（200字以内）を掲載して募集することができる。

(5) 審査方法

審査は研究支援委員会が研究計画書と申請書の内容を採点し、基準を超えた研究計画について常任理事会の承認を得て採択を決定する。

(6) 募集期間

募集期間は、毎年1月1日から7月31日とし、予算の関係から、採択は先着順に3件までとする。

(7) 研究支援金の使途と報告義務

使途は自由であるが、使途明細を受領後1年以内に提出する。(主として会議費・旅費を想定している)。また、競争的研究資金の獲得の成否について報告し、獲得に成功した研究班は、本学会大会にて当該研究の成果について発表を行う。